

新型コロナウイルス感染症予防の為、引き続き下記の対応を取らせて頂いております。皆様には多大なご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

記

- ① サービス利用前に 37.5 度以上の発熱や呼吸器症状がある場合は、ご利用を見合わせて頂きます。この場合、解熱後 48 時間経過して体調に異常が無ければ再利用が可能です。
- ② サービス利用中はマスクの着用をお願いします。
- ③ 入所利用者様のご面会はオンライン面会のみと致します。人数は 3 名までとし、必ずマスクの着用をお願いします。また体調不良の場合はお控え頂けます様、お願いします。
- ④ 入所利用者様の外出・外泊は原則不可です。但し、当施設の医師が受診を必要と判断した場合の外出や在宅復帰前提の外泊は可能です。
- ⑤ 家族様による洗濯物の回収、お届けは可能です。取り次ぎは午前 8 時 30 分から午後 4 時 30 分までの間とさせていただきます。

※上記は今後の状況の変化に応じて変更する可能性があります。予めご了承ください。

以上

■リハビリ通信



収穫した大根でおでんをつくりました。大根を育て、収穫して、調理をする。それぞれの作業を得意とする利用者様が手慣れた手つきで作業をこなされました。自分達で育て、調理した大根の味は格別です。利用者様も「美味しい」と大満足のご様子でした。

■スタッフブログ

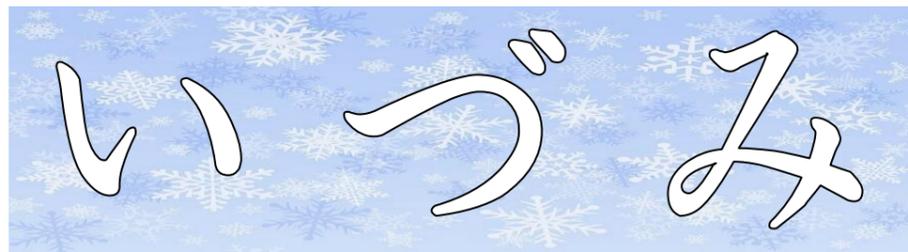
広報誌だけではお伝えする事が出来ない施設での取り組みや、日々の行事等を載せています。是非一度下記 URL にてご覧下さい。

<https://www.kokoro.or.jp/izumi-care/>

編集後記

新型コロナウイルスの感染者数が増えてきています。これ以上感染者を増やさない為にも、継続して感染対策を徹底しましょう。

編集責任者 金子 弘幸



いづみのホームページ <https://www.kokoro.or.jp/izumi-care/>



介護老人保健施設いづみケアセンター



〒355-0807 埼玉県比企郡滑川町和泉 873
TEL0493-56-6123 FAX0493-56-6124

「一食入魂」



フードサービス部
主任 飯島啓史

明けましておめでとうございます。新型コロナウイルスが収束しつつありましたが、また新たな変異株が出現し、まだまだ気の許せない状況となっています。今年こそはマスクなしで旅行に行きたい！と思っている方も多いのではないのでしょうか。その中のひとりが私です。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

私がいづみケアセンターに入職し、この4月で5年目に入ろうとしています。現在、私は施設における食に関する全てのサービスを担う部署であるフードサービス部の責任者として現場を統轄しています。フードサービス部では20代から80代の幅広い年齢層の方が従事しています。管理栄養士2名、栄養士3名、調理師4名、調理員2名の計11名で朝・夕90食、昼180食を調理しています。現在、普通の食事形態で食べられる方だけでなく、嚙む力が弱く、咀嚼が上手くできない方には一口大にカットした粗きざみを提供。咀嚼・嚥下機能に不安や問題のある方には食材を柔らかく仕上げたソフト食、それでも食事の摂取が困難な方にはミキサーを用いてなめらかにしたペースト食を提供しています。フードサービス部では「美味しい食事づくり」を心掛けています。美味しい味付けもさることながら、利用者様のニーズに沿った食事を提供するために重要となってくるのが、多職種との関わりです。利用者様の普段の様子、食事のときの様子などの情報を共有することでニーズに沿った食事提供ができると考えています。

コロナ禍で家族との直接的な面会が制限されているなか、利用者様にとって1番の楽しみは1日3回の食事だと感じています。私の姿を見かけ、「今日も美味しかったよ。ごちそうさま。」と声をかけてくださる利用者様の笑顔が私にとって1番のエネルギーとなっています。なかには「今日のはちよつとなあ。」と残念そうな意見や厳しい意見もあります。全ての利用者様の嗜好や意見に合わせることは難しいですが、少しでも満足していただけるような食事を提供できるよう試行錯誤を重ねていきます。「食事が美味しいからいづみケアセンターを選びました。」と仰って下さる利用者様をもっと増やしたい！それが私の願いです。

本年も当施設への深いご理解と温かいご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

施設の行事

中庭で「焼き芋」を作りました



毎年恒例の焼き芋を中庭で作りました。サツマイモの種類は皆様に好評の安納芋を使いました。当日は天候にも恵まれ、焼き芋の甘い香りに誘われた利用者様が多く参加され、大盛況でした。湯気の立つ熱々の焼き芋を手にして皆さまニコリ笑顔。味も香りも抜群と好評でした。

医療・福祉関係者モニター会を開催しました

地域の医療機関や居宅介護支援事業所の皆様を対象とした「医療・福祉関係者モニター会」を開催しました。11月に計4日間行い、合計32名の方々にお越し頂きました。老健として在宅復帰を目指し、4月から超強化型老健となったいづみケアセンターの取り組みをご紹介させて頂きました。ご参加頂き有難うございました。今後ともいづみケアセンターを何卒宜しくお願い申し上げます。



全国老人保健施設協会の表彰を受けました



全国老人保健施設協会の発展並びに介護老人保健施設の資質向上への貢献が認められ、石川ゆき子生活ケア部長が同協会の東憲太郎会長より表彰状を授与されました。ここを現場として使命を果たすスタッフ全員で頂いた勲章と受けとめ、コツコツと積み上げてきた努力を評価して頂いたことに心から感謝申し上げます。

ときがわ町の広報誌に掲載されました

「広報ときがわ 10月号」に通所課介護職の森田和裕さんの記事が掲載されました。森田さんは知的障がい者のフルマラソン世界記録保持者であり、インタビュー形式での特集ページが取り上げられました。広報誌に載る事自体素晴らしいですが、森田さんは表紙も飾りました。当施設は今後も森田さんを全力で応援します。



通所課「忘年会」



12月14、15日に通所忘年会を行いました。職員のフラダンスから始まり、利用者様と職員全員で西城秀樹のヤングマンを踊りました。事前に利用者様と一緒に制作した思い出のあるフラガールの衣裳を着て踊ったり、当日はアンコールを頂いたり笑顔溢れる忘年会となりました。終了後、利用者様から素敵な絵手紙を書いて頂きました。有難うございました！（写真一番右）

磯野院長執筆書籍紹介

埼玉森林病院の磯野院長が、「認知症診断の不都合な真実」(幻冬舎)という本を執筆致しました。本書では、埼玉森林病院のもの忘れ外来も担当し、20年以上認知症の患者さまと接してきた磯野院長が、「認知症とは何か」「他の精神科領域の疾患とはどう違うのか」を詳しく紹介しています。そして、患者さまが適切な治療に繋がり、患者さま本人にとってもご家族にとっても、穏やかで安心、安全な生活を送っていただけるよう寄り添い支えていく磯野院長の姿勢が詰まった一冊となっております。ぜひご一読ください。

